

CASIO®

IDC-800J/IDC-850J

取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

本機の特長

- 電波時計（国内 2 局対応自動週局機能付）
福島県「おおたかどや山」（40kHz）
佐賀県と福岡県の境「はがね山」（60kHz）

- 電波受信機能のオン / オフ切り替え

- 1 か月カレンダー表示

- 六曜表示 / 六曜サーチ

- 西暦 / 元号表示

- センサーにより、温度・湿度を表示

- 生活環境お知らせ機能

警告

- 袋をかぶらない、飲み込まない

- 本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしない。
窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 電池について

- 電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。
目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。
- 乳幼児の手の届く所に電池を置かない。
お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

- 設置場所について

- 次のような場所に置かない、使わない。
火災・感電の原因となります。
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

- 不安定な場所に置かない、不確実な掛け方をしない。
落下・転倒時には、けがの原因となります。

- 分解・改造しない

- 本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

注意

- 電池について

- 破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。

- 分解しない、ショートさせない
- 充電しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 本機で指定されている電池以外は使わない

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
- 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

- 電池が液漏れしたまま使用しない。

- 火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問合せ先」に連絡してください。

- 長く伸ばした爪で電池の着脱をしない。

- けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

- 使用環境や保管環境について
本機に強い衝撃を与えないようにご注意ください。また、下記の場所での使用や保管はおやめください。故障の原因となります。

- 極端な温度や湿度になる場所
 - － 暖房器具の近くや直射日光が当たる場所
 - － 自動車のダッシュボードの上
 - － 浴室など湿気の多い場所
 - － 使用温度の範囲を外れる場所

- 強い磁気を受ける場所
 - － 磁石（磁気ネックレスを含む）の近く
 - － スピーカーの近く など

- 塵やほこりの多い場所
 - － 窓の近く
 - － 出入口が常に開いている倉庫
 - － 屋外 など

- 保管方法について
長期間ご使用にならないときは、汚れや水分をふき取り、電池を取り出して保管してください。

- 静電気の影響について
 - 静電気の影響を受けて、誤動作することがあります。
 - 極度に強い静電気は、本機の電子部品を破損することがあります。
 - 液晶の点灯していない部分に、一時的ににじみ現象が発生することがあります。

- 電源について

- 電池が消耗すると、下記のような誤動作が起こります。この場合は、長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
 - － 時刻がずれたり、リセットされたりする
 - － 液晶表示の表示濃度が薄くなる
 - － 液晶表示が消える
 - － 報音が停止する

- 正常に動作していても、1 年に 1 回は電池を交換してください。消耗した電池を使い続けると、液漏れが発生することがあります。
- お買い上げ時に付属している電池は、充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- 付属の電池は、時計の機能や性能をチェックするためのモニター用電池です。
- 付属の電池は、お客様がお買い上げになるまでの期間に消耗します。取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。
- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

- 液晶表示について
 - 温度が 0℃～ 40℃の範囲を外れる場所では、表示が見にくくなることがあります。
 - 見る方向によって、表示が見にくくなることがあります。

- 受信する電波について
本機が受信できる電波は「日本の標準電波だけ」です。ただし、日本以外の地域で使用している場合でも、まれに日本の標準電波を受信して自動的に日本の時刻に修正することがあります。日本以外の地域でご使用になる場合は、本機の電波受信機能をオフ（電波受信の動作を行わない状態）にしてください。

- センサーなどの計測機能について
測定値は目安としてご利用ください。

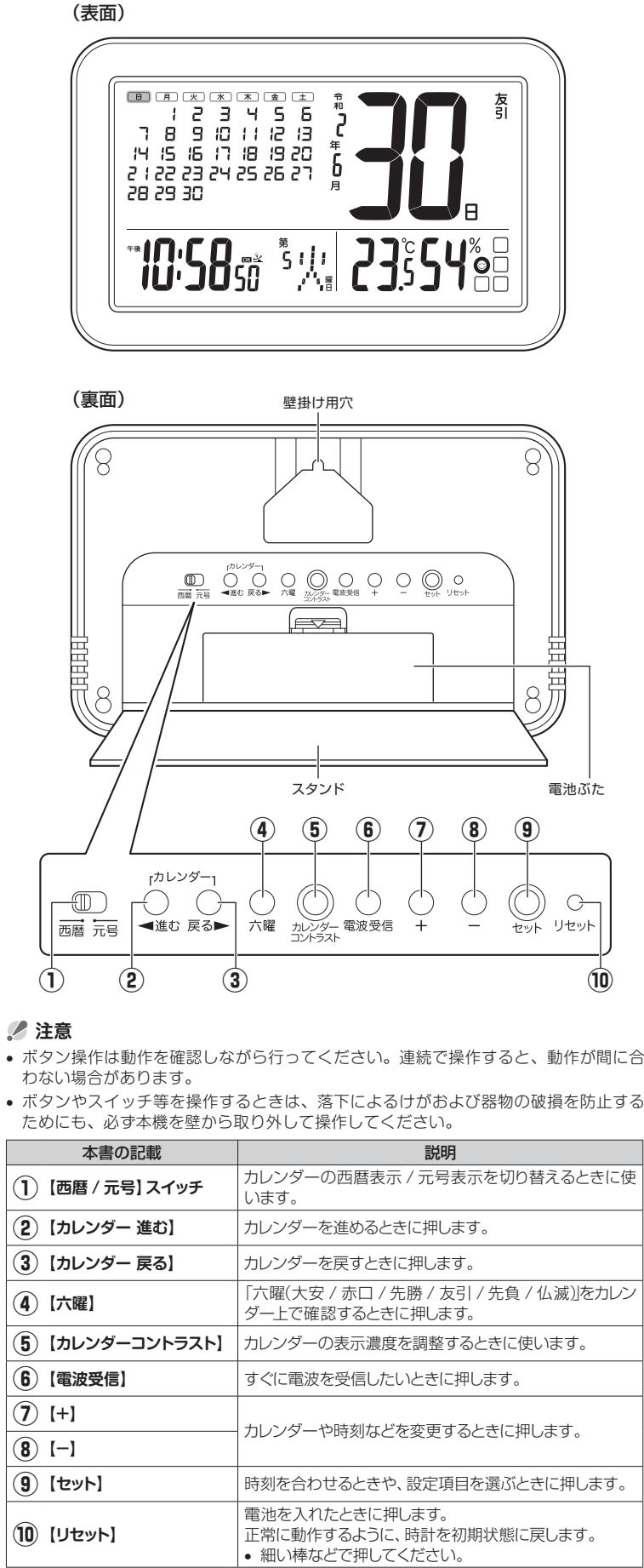
- お手入れについて
汚れは、「乾いた柔らかい布」が「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

- 電池や本機の廃棄について
お住まいになられている地区自治体の指示にしたがって廃棄してください。

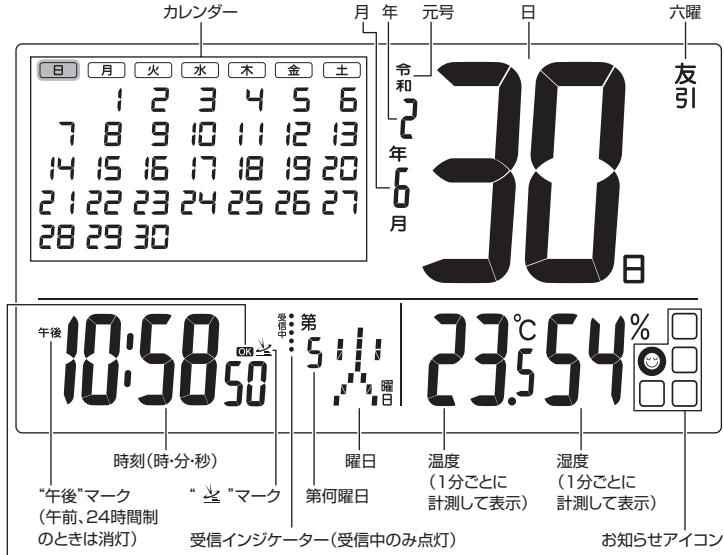
- 免責事項について
万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

- 本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。



表示について



電池を入れて設置する

- ① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。

- ② スタンドを開きます。

- ③ 電池ふたを開けます。

- ① つまみ部分を押しながら
- ② 矢印の方向に開ける

- ④ 電池を入れます。

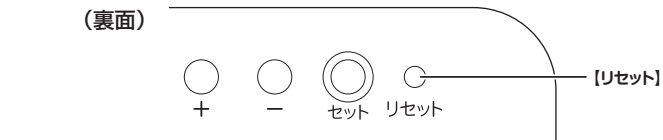
- 注意
 - 電池はマイナス極から挿入してください。電池を取り外すときは、プラス極から外してください。

- 重要
 - 極性（⊕ と ⊖ の向き）に注意して正しく入れてください。
 - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
 - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
 - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

- ⑤ 電池ふたを閉めます。

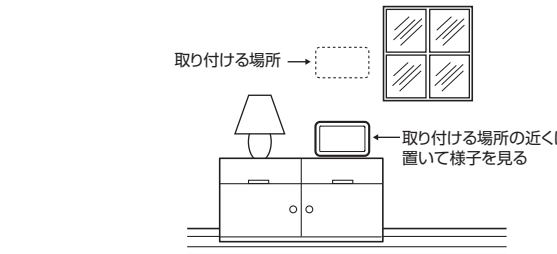
- ① ツメを本体のミソにあわせて
- ② 矢印の方向に閉める

- ⑥ 【リセット】を細い棒などで押します（リセット操作）。



- 時計が「午後 12:00 00」から動き始めます。
- すでに時計が動いていても、リセット操作をしてください。

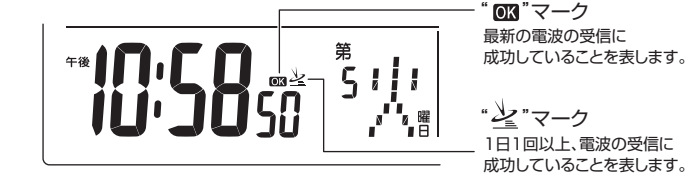
- ⑦ 時計を設置する場所の近くに置きます。



- 「午後 12:01 00」になると、自動的に電波受信が始まります。受信動作中は、受信インジケーターが点灯 / 消灯します。
- 置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケーターで確認します。
- 電波受信が終了するまで時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

- ⑧ 時計を設置する場所で、電波を受信できるかどうかを確認します。

- 「電波を受信できたとき」
現在の年月日と時刻に修正し、「ⓧ」マークと「⚡」マークが点灯します。



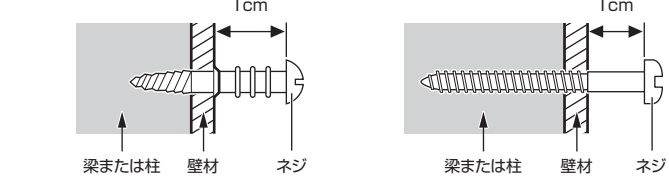
- 「電波を受信できなかったとき」
年月日や時刻を修正しません。「ⓧ」マークと「⚡」マークは点灯しません。
 - 「電波を受信できないときは」をご覧ください。

- ⑨ 時計を設置する壁の状態を確認します。

- 掛け具は、しっかりと固定できる場所（梁、木の柱、木質の厚い壁など）に使用してください。しっかりと固定できない場所に使用した場合、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 石膏ボード、コンクリート、薄い化粧ビニヤ板などには、必ず材質に適した市販の掛け具をご使用ください。
- 掛け具を取り付ける際には、穴をあけるなど壁に傷をつける施工が必要になります。電波の受信状況を確認し、その場所に設置することを決めてから、取り付けてください。

- ⑩ 掛け具を壁に取り付けます。

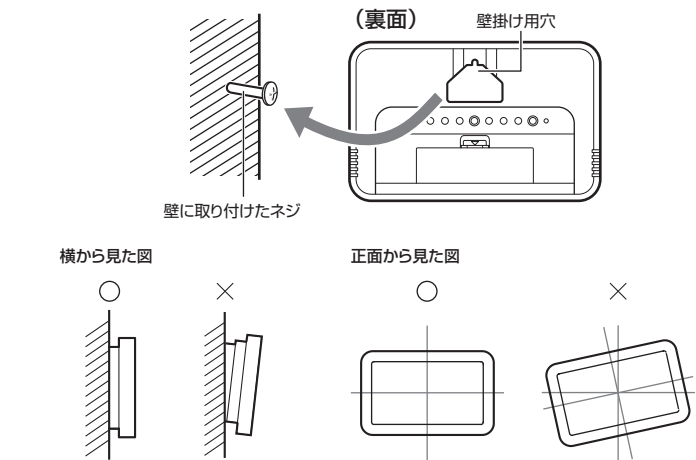
- 付属のネジの場合（ネジの形状は製品によって異なります）



- 市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

- ⑪ 時計を掛け具に掛けます。

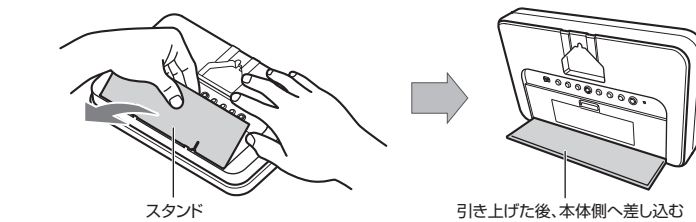
- 掛けた後、時計を上下左右、手前に軽く動かして、しっかり掛かっていることを確認してください。しっかり掛かっていないと、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 水平位置も正しく合わせてください。



- 置き時計として使う（スタンドを使う）

- 本機は、裏面のスタンドを起こして、置いて使用することもできます。

- 本機をテーブルなどの平らな場所に置いて、図のようにスタンドの中央を持ち、止まるまで引き上げてください。そのまま、固定されるまで本体側へ差し込んでください。
- スタンドを使用しないときは元の位置に収納してください。



ボタンを押して電波を受信する

- すぐに時刻を合わせたいときなど、必要なときにボタンを押して電波を受信します。

- ① 【電波受信】を押すと、受信を開始します。

- 注意
 - 電波受信が終了するまで、時計に触らないでください。
 - 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
 - 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

- ② 電波を受信できたかどうかを確認します。

電波を受信できないときは

- 一昼夜、時計をその場所に置いておきます。
昼間は電波が受信できなかった場所でも、夜間には受信できることがあります。電波の状況は、周囲の地形や建物、季節、天候、時間帯（昼 / 夜）などで変化します（「電波時計について」参照）。
- 定期的に、窓際などの電波を受信できる場所に時計を持っていき、ボタンを押して電波を受信します（「ボタンを押して電波を受信する」参照）。
電波を受信した後、設置場所に戻します。
- 手動で時刻などを修正します（「ボタンを押して時刻などを修正する」参照）。
この場合の時計の精度は、「製品仕様」に記載している「電波受信による時刻修正ができない場合」の精度になります。
- 時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。
事前に、電波受信のボタンを押して、新しい設置場所でも電波を受信できるかどうかを確認してください（「ボタンを押して電波を受信する」参照）。

